

第 6 回 3 委員会意見交換会 議事概要

日 時 : 令和 7 年 10 月 15 日 (水) 15 時 00 分～17 時 00 分
場 所 : アクティ奈良 5 階 会議室
出席者 : 委員長 村上興正 (奈良のシカ保護管理計画検討委員会 委員長)
委 員 立澤史郎 (奈良のシカ保護管理計画検討委員会 委員)
松井 淳 (春日山原始林保全計画検討委員会 委員長)
尼崎博正 (奈良公園植栽計画検討委員会 委員長)
事務局 奈良県観光局 奈良公園室
奈良県観光局 奈良公園事務所

●各委員会の取組について

(奈良公園植栽計画検討委員会)

- ・登大路園地における芝生の改善を進める。ただし、芝生の養生後も過剰な踏圧を防ぐため、イベント等の利用制限が必要である。
- ・若草山樹林地のナンキンハゼ対策について、ギャップ内の修復植栽について他の委員会の専門家からの知見を活かす。

(奈良のシカ保護管理計画検討委員会)

- ・奈良公園のシカは野生動物であることを踏まえ、過去から続くシカと人との関係を守るために、あり方、接し方について整理し、一般の人に周知する必要がある。
- ・奈良公園の芝地、堅果類に関する調査を今後実施する。

●奈良公園全体にかかわる方向性について

- ・現在の様々な課題に対し、人の利用や動線といった包括的な方向性を検討する場が必要である。
- ・また、それらの議論をスムーズに進めるために、各委員会から問題提起することが良いと思われる。
- ・奈良公園での補植や、春日野園地の在来種のシバ植生の保全を念頭に、奈良公園の在来種、遺伝子の保全の観点から踏まえた育苗体制の構築とともに植栽のルーツづくりが必要である。

●3委員会での協力、情報共有について

- ・原始林におけるシカの密度と植生など、各委員会で調査したデータを、一つのベースデータとして共有できることが望ましい。